

第 68 回日本輸血・細胞治療学会学術総会 開催について 第 2 報

各位

3 月 11 日付でホームページ上にお知らせした通り、第 68 回日本輸血・細胞治療学会学術総会の開催について、3 月 19 日に公表された新型コロナウイルス感染症対策専門家会議の状況分析・提言、他学会の対応状況、認定制度でのクレジットなどを考慮し、3 月 25 日開催の理事運営委員会で検討しました。その結果、下記の様にハイブリッド開催（現地開催に加え、当日の発表内容を録画したものを学術総会終了後、期間を限定して WEB 配信する）を行うことに決定しましたのでお知らせ致します。なお、現地では新型コロナウイルス感染症に対し、十分な感染予防対策への配慮が必要になりますので、下記の【感染対策】にご留意下さい。

記

【感染対策】

1. 業務に支障のない範囲でご参加ください。
発表・座長などを担当される方で、業務多忙、所属施設の取り決めなどでキャンセルが必要な方は、遠慮なくお申し出ください。事務局で調整します。決して無理をなさらないようお願い申し上げます。
2. 現地まで来られていても、当日体調が優れない方、有熱者は参加をお控えください。
自分のみでなく、周囲の人たちを守ることも重要です。
3. 会期中はマスクの着用と手指衛生の徹底、咳エチケットにご協力ください。
マスクはご持参ください。
手指消毒用エタノールは準備して適切に配置します。
4. 会場では 1 席以上あけての着席をお願いします。
濃厚な接触を可能な限り減少させるための措置です。
5. 会員懇親会はビュッフェ形式のため行いません。
6. 学会前後の私的懇親時には、濃厚接触、大声での会話、閉鎖空間の 3 条件にくれぐれもご注意ください。

【学術総会参加登録と参加実績】

- ・事前参加登録後、参加費を支払った場合は、第 68 回学術総会への参加実績として認めます。

通常の学術総会では、学術総会会場（現地）で会員証のバーコードを認証することによって学術総会の参加実績をデータベースに登録していますが、今回は、事前参加登録していただいた会員に関しては、事務局で参加実績をデータベースに登録します（現地に来ることができなくとも、参加実績となります）。

- ・現地で参加できる方も、可能な限り事前参加登録をご利用下さい。

【学会関連行事】

- ・理事会：現地で開催します。出席者が定足数（過半数）に満たない場合は、テレビ会議（WEB 会議）の併用を検討します。
- ・社員総会：通常通り現地で開催します。
- ・各種委員会：開催の有無を委員長に確認してから決定します。各委員会のメーリングリストなどによるお知らせにご注意下さい。

【学術総会】

通常の学術総会と同様に、札幌コンベンションセンターで5月28日(木)～30日(土)の期日で開催します（現地開催）。

ただし、以下の企画は中止します。

- ・一般演題（口演・ポスター）の発表
現地での発表は行わず、学術総会抄録集による誌上発表とします。なお、今回誌上発表となった演題と同じ内容の発表は、次回以降の学会ではできません。
誌上発表は発表実績として、各認定制度の受験や資格更新の点数として用いることができるように各認定制度審議会と調整予定です。
- ・国際シンポジウム、アジアセッション、海外演者による共催セミナー
- ・会員懇親会
- ・認定制度受験のためのガイダンス
- ・I&A 視察員講習

その他の企画は、原則として現地開催とします。現地開催企画は、内容を録画し、学術総会終了後に一定期間 WEB 上で視聴できるようにする予定です（WEB 開催）。

WEB 開催を視聴できるのは、事前参加登録または現地参加登録した方に限ります。参加登録済みの方には、ID とパスワードを発行する予定です。

1. 特別企画

事務局から座長、発表者に現地での登壇の可否を確認し、最終的な現地開催の有無は座長に判断いただく予定です。

- ・鼎談
- ・テーマ関連パネルディスカッション
- ・特別講演
- ・教育講演
- ・シンポジウム
- ・パネルディスカッション
- ・サテライトセミナー

2. 指定教育セミナー

現地開催の有無や、受講証発行の有無などは各認定制度審議会に判断いただく予定です。

3. 共催セミナー

共催企業様に座長、発表者に現地での登壇の可否を確認していただき、最終的な現地開催の有無は共催企業様に判断いただく予定です。

4. 総会長講演

現地開催します。

5. 村上記念賞受賞講演、

現地開催する予定です。

6. 学術奨励賞受賞講演

現地開催する予定です。現地開催の有無は受賞者と相談します。

7. 展示

現地開催します。

以上

参加予定の皆様には、ご連絡が遅くなりご心配をおかけしたことにおわび申し上げます。今後、新型コロナウイルスの感染状況にともなう政府方針の公表などにより、いろいろな事態が生じる可能性があります。第68回学術総会を開催できるようさらに準備を進めて参ります。今回の開催方法変更の詳細が決まりましたら、ホームページや会員一斉メール（登録者のみ）で、逐次新しい情報を提供していきますのでご参照下さい。会員の皆様や企業の皆様のご理解・ご協力を心からお願い申し上げます。

令和2年3月27日

一般社団法人日本輸血・細胞治療学会

理事長 松下 正

第68回日本輸血・細胞治療学会学術総会

総会長 紀野修

事務局長 豊嶋崇徳

